

感染性胃腸炎対策時の環境消毒の方法

- 1 消毒液を作る
- ・感染性胃腸炎が流行する秋～春や胃腸炎症状を呈する職員・利用者が発生した場合は次亜塩素酸ナトリウムを使用する。
- 2 PPEを着用する
- ・マスク、手袋、ガウンを着用する。
- 3 人が触れる場所を消毒する
- ・モップや雑巾はエリア（階等）毎に掃除用とウイルス処理用に分ける。
 - ・ウイルスが舞う可能性があるので、消毒液は噴霧しない。
 - ・奥から手前、上から下に向かって一方向に消毒する。

- 【頻度】
- ・対策期間は1日2～3回以上
 - ・トイレは使用する度
- 【対策期間】
- ・最後の有症者が発生してから1か月
 - ※回復後も発症から1か月程度はウイルスが便中に排出される。
- 4 換気する
- 5 掃除用具を消毒する
- ・次亜塩素酸ナトリウム（0.02%濃度）に30～50分浸す。
- 6 手洗いする

消毒液の作り方（※次亜塩素酸ナトリウムの濃度が6%の場合）

濃度	0.1%以上	0.02%以上
用途	汚物が付いた場所・物・衣類、トイレ等	日常的な清掃（ドアノブ・蛇口）、厨房内、食器・調理器具、玩具等
希釈方法	水2L+次亜塩素酸ナトリウム40ml（ペットボトルキャップ8杯分） 又は 水500ml+次亜塩素酸ナトリウム10ml（ペットボトルキャップ2杯分）	水2L+次亜塩素酸ナトリウム10ml（ペットボトルキャップ2杯分） 又は 水500ml+次亜塩素酸ナトリウム2.5ml（ペットボトルキャップ0.5杯分）

※市販の次亜塩素酸ナトリウムの一般的な濃度は6%ですが、濃度によって効果が異なるので表示を必ず確認してください。
※口に入るもの（食器・調理器具や玩具等）については、消毒後、水拭きをしてください。

よく触れる/消毒する場所

